



平成 30 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 石 清 恭
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 コーポレート本部長 森 田 善 之
(T E L . 0 3 - 6 8 5 3 - 9 0 8 8)

平成 30 年 1 月 期 通期連結業績予想の修正及び 個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月 15 日に公表しました平成 30 年 1 月 期 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日) 通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなったことから、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 (円) |
|------------------------------|-------|--------|--------|-------------------------|---------------------|
| 前回発表予想 (A) | 7,500 | 800 | 800 | 600 | 15.50 |
| 今回発表予想 (B) | 7,930 | 413 | 316 | 246 | 6.38 |
| 増 減 額 (B-A) | 430 | △386 | △483 | △353 | △9.12 |
| 増 減 率 (%) | 5.7% | △48.3% | △60.4% | △58.9% | △58.9% |
| (ご参考) 前期実績(平成 29 年 1 月 期) | 6,627 | 599 | 392 | 314 | 8.14 |

2. 個別業績予想数値及び前事業年度の実績値との差異

(平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 (円) |
|-------------|-------|--------|--------|---------------------|
| 前事業年度実績 (A) | 3,794 | 411 | 315 | 8.15 |
| 今回発表予想 (B) | 4,353 | 270 | 123 | 3.19 |
| 増 減 額 (B-A) | 558 | △140 | △191 | △4.96 |
| 増 減 率 (%) | 14.7% | △34.1% | △60.9% | △60.9% |

3. 修正等の理由

【連結】

国内事業において、IoT サービスの企画・開発案件の受注や、Beacon をはじめとした IoT センサーデバイスの販売が好調に進捗したことに加え、欧米事業においても次代の主力製品と見込むホワイトボックス向け Network OS「OcNOS[®]」の販売が好調であったことにより、売上高につきましては当初計画を上回る見込みです。他方、国内事業の IoT 分野において将来の事業成長に向けた低粗利の戦略的な受託開発案件の受注が増加したことや、粗利率の低い IoT センサーデバイスの仕入れ・販売が伸びたこと、国内事業の電子出版分野において育成中の一部サービスの立ち上がりが想定より遅れたことから販売計画を見直し、ソフトウェア資産の早期償却を行ったことから、営業利益は当初想定を下回る見込みであります。また、営業外費用として、投資事業組合運用損失及び持分法投資損失が発生する見込みであります。

【個別】

上記、国内事業の事業状況に加え、関係会社株式評価損の計上により、経常利益及び当期純利益は前事業年度の実績を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上